

政策評価調書(元年度実績)

政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	政策コード	Ⅲ-1	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部、生活環境部、商工観光労働部、警察本部
-----	--------------------------	-------	-----	-------	------------------------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進や、世界に通用する「グローバル人材」の育成、いじめ・不登校対策の充実・強化、学校・家庭・地域との協働など、学校教育の充実と生涯を通じた学びを支援するとともに、青少年の健全育成やひきこもり支援、多様な行政課題の解決に向けた県内外大学等との連携を進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進	達成	A
2	グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成	達成	A
3	安全・安心な教育環境の確保	概ね達成	B
4	信頼される学校づくりの推進	達成	A
5	「知の拠点」としての大学等との連携	達成	A
6	青少年の健全育成	達成	A
7	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援	概ね達成	B

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県の子どもの学力は、基礎的・基本的な「知識及び技能」の定着については、一定の成果をあげているが、「思考力、判断力、表現力等」及び「学習意欲」については、小・中・高等学校を通じて課題が見られる。人口減少・少子高齢化、急速な技術革新、グローバル化の進展など変化の激しい時代を生きるすべての子どもたちに、未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育を着実に推進していくことが重要である。

ICTなどの技術革新は目覚ましく、超スマート社会の到来が予想されていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもを取り巻く環境も大きく変化した。このような変化に伴い、教育活動におけるタブレット型端末等の活用やそれを支える高速通信環境の構築など、学校の教育環境の整備も急務となっている。また、新たな技術を活用した教育方法の変化にも対応していくことが必要となる。

急速なグローバル化の進展に伴い、郷土や日本への深い理解をもって世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働することでグローバル社会を生き抜くことができる人材育成が求められている。

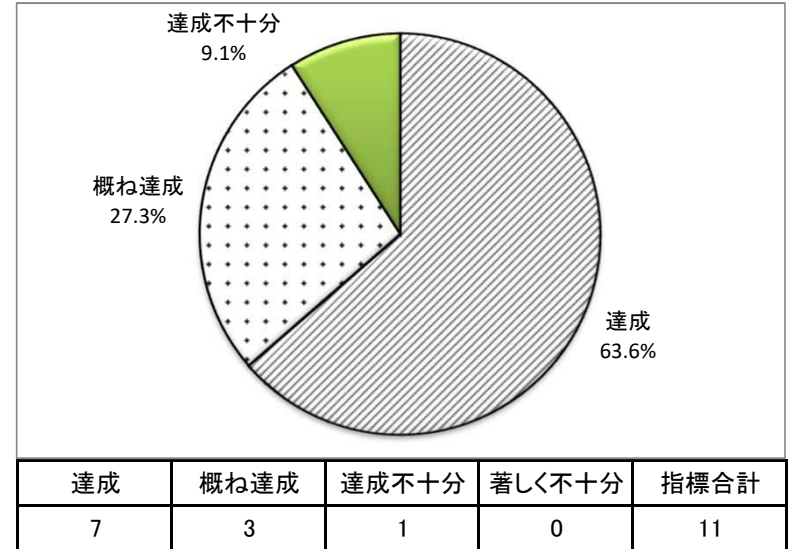
いじめ等の問題行動や不登校を未然防止するための「魅力ある学校づくり」の推進や長期不登校児童生徒の学校以外の場における教育機会の確保が求められている。

大学教育改革が進められているなか、高等学校までの学校教育においても、新学習指導要領の全面実施や大学入学者選抜に関する変更を見据え、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要となる。

大学等高等教育機関は「知の拠点」として、学生の確保や生涯学習の提供、グローバル人材の育成、自治体や企業等との連携など地域への貢献が期待されている。

県民の学習への欲求は多様化・高度化しており、ライフステージに応じ、多様な課題に対応した学習機会を提供することが重要である。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—